

科目名 (科目番号)		臨床検査総論 (時間割参照)	教員名 稲田 政則	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要		尿・糞便など血液以外の各種検体を対象とした一般検査法について、原理および意義を講義した上で、検査成績に影響を及ぼす諸問題に言及する。また一般検査に関する知識を病態と関連付けながら体系的に整理する。						
目的・目標		目的:尿検査、便検査、脳脊髄液検査などの検査について、意義や検査法を習得する。 目標:各種検体の特徴や採取方法を理解する。各検査項目の臨床的意義や測定原理、技術的諸問題を理解する。						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	臨床検査技師の役割と使命、臨床検査に関する心構えと一般的注意	到達目標:臨床検査技師の役割と使命、心構えと一般的注意について理解する。 学習内容:臨床検査技師という職業への理解を深め、法的位置づけ、社会的使命と職業倫理、守秘義務について学ぶ。					
	2	検体の取り扱い：(1)尿、(2)糞便	到達目標:尿、便検体に関する取り扱いを理解する。 学習内容:尿、便検体の特徴、採取方法、保存方法を学ぶ。					
	3	検体の取り扱い：(3)喀痰、(4)胃液・十二指腸液・唾液	到達目標:喀痰、消化液検体に関する取り扱いを理解する。 学習内容:喀痰、消化液検体の特徴、採取方法、保存方法を学ぶ。					
	4	検体の取り扱い：(5)脳脊髄液、(6)穿刺液、(7)精液	到達目標:髄液、穿刺液、精液検体に関する取り扱いを理解する。 学習内容:髄液、穿刺液、精液検体の特徴、採取方法、保存方法を学ぶ。					
	5	検体の取り扱い：(8)CAPD排液、(9)その他の検体	到達目標:CAPD排液、その他の検体に関する取り扱いを理解する。 学習内容:CAPD排液、その他の検体の特徴、採取方法、保存方法を学ぶ。					
	6	尿の生成と組成	到達目標:尿の生成と組成、採取方法を理解する。 学習内容:尿の生成に関し、解剖学的、生理学的知識を含めて学ぶ他、尿定性検査に最適な採尿方法について学ぶ。					
	7	尿試験紙法、尿比重、尿pH	到達目標:尿試験紙法の概要、尿比重、尿pHの測定法を理解する。 学習内容:尿試験紙法の特徴とその利点と欠点、操作法、保管方法、尿比重、pHについての各種測定法を学ぶ。					
	8	尿蛋白、尿糖、尿ケトン体	到達目標:尿蛋白、尿糖、尿ケトン体に関する測定法を理解する。 学習内容:尿蛋白、尿糖、尿ケトン体の各種測定法の原理および偽陽性、偽陰性を含む結果の解釈の注意点を学ぶ。					
	9	ウロビリノゲン、ビリルビン	到達目標:尿ウロビリノゲン、ビリルビンに関する測定法を理解する。 学習内容:尿ウロビリノゲン、ビリルビンの各種測定法の原理および偽陽性、偽陰性を含む結果の解釈の注意点を学ぶ。					
	10	尿潜血、亜硝酸塩、白血球反応	到達目標:尿潜血、亜硝酸塩、白血球反応に関する測定法を理解する。 学習内容:尿潜血、亜硝酸塩、白血球反応の各種測定法の原理および偽陽性、偽陰性を含む結果の解釈の注意点を学ぶ。					
	11	尿沈渣	到達目標:尿沈渣検査を理解する。 学習内容:尿沈渣の標準的作製法、染色法、鏡検法、尿沈渣成分の種類、形態的特徴、臨床的意義等を学ぶ。					
	12	腎機能検査、尿特殊検査	到達目標:腎機能検査、尿特殊検査を理解する。 学習内容:糸球体濾過量や尿濃縮能の評価の方法、VMAやインジカン等の尿特殊検査について学ぶ					
	13	髄液検査、穿刺液検査	到達目標:髄液検査、穿刺液検査を理解する。 学習内容:髄液および穿刺液検体の採取、性状、前処理から、検査項目毎の測定技術、臨床的意義を広く学ぶ。					
	14	便潜血検査、精液検査	到達目標:便潜血検査、精液検査を理解する。 学習内容:便および精液の採取、性状、前処理から、検査項目毎の測定技術、臨床的意義を学ぶ。					
	15	その他の一般検査	到達目標:CAPD排液や喀痰等に関する一般検査を理解する。 学習内容:CAPD排液、喀痰等の特徴、性状、鏡検による検査を学ぶ。					
成績評価の方法・基準		対面・オンライン共通：定期試験（100%）						
教科書		臨床検査総論		伊藤機一・松尾収二（編）		医学書院		
参考図書		尿沈渣検査法2010 髄液検査技術教本		日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会		日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会		
教員からのメッセージ		予習と復習を十分に行ってください。総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						